



薬剤部

～情報～

2025年8月



7月の採用薬品（限定採用薬品）

インスリン アスパルト B S 注ソロスター NR「サノフィ」 超速効型インスリンアナログ製剤

サノフィ株式会社

【効】インスリン療法が適応となる糖尿病

【用】本剤は持続型インスリン製剤と併用する超速効型インスリンアナログ製剤である。

通常、成人では、初期は1回2～20単位を毎食直前に皮下注射する。なお、投与量は症状及び検査所見に応じて適宜増減するが、持続型インスリン製剤の投与量を含めた維持量は通常1日4～100単位である。

【副】添付文書参照



ピタバスタチン Ca・OD錠1mg「杏林」

HMG-CoA還元酵素阻害剤

キョーリンリメディオ株式会社

【効】高コレステロール血症、家族性高コレステロール血症

【用】 【副】添付文書参照



MSコンチン錠10mg

持続性癌疼痛治療剤

シオノギファーマ株式会社

【効】激しい疼痛を伴う各種癌における鎮痛

【用】通常、成人にはモルヒネ硫酸塩水和物として1日20～120mgを2回に分割経口投与する。

なお、初回量は10mgとすることが望ましい。

症状に応じて適宜増減する。

【副】添付文書参照



オプソ内服液5mg

癌疼痛治療剤

住友ファーマ株式会社

【効】中等度から高度の疼痛を伴う各種癌における鎮痛

【用】通常、成人にはモルヒネ塩酸塩水和物として1日30～120mgを1日6回に分割し経口投与する。

なお、年齢、症状により適宜増減する。

【副】添付文書参照



7月の採用薬品（限定採用薬品）

ジルムロ配合錠HD「武田デバ」

持続性AT1レセプターブロッカー／持続性Ca拮抗薬配合剤

武田デバファーマ

【効】高血圧症

【用】成人には1日1回1錠（アジルサルタン／アムロジピンとして20mg／5mg）を経口投与する。本剤は高血圧治療の第一選択薬として用い

【副】添付文書参照



ビオフェルミン錠剤

ビフィズス菌整腸剤

ビオフェルミン製薬株式会社

【効】腸内菌叢の異常による諸症状の改善

【用】通常、成人1日3～6錠を3回に分割経口投与する。なお、年齢、症状により適宜増減する。

【副】添付文書参照



ジクロフェナクNaゲル1%「ラクール」

経皮鎮痛消炎剤

三友薬品株式会社

【効】下記疾患並びに症状の鎮痛・消炎

変形性関節症、肩関節周囲炎、腱・腱鞘炎、腱周囲炎、上腕骨上顆炎（テニス肘等）、筋肉痛（筋・筋膜性腰痛症等）、外傷後の腫脹・疼痛

【用】症状により、適量を1日数回患部に塗擦する。

【副】添付文書参照



ダルベポエチン アルファ注40μg, 180μgシリンジ「KKF」

持続型赤血球造血刺激因子製剤

協和キリンフロンティア株式会社

【効】腎性貧血、骨髄異形成症候群に伴う貧血

【用】 【副】添付文書参照



7月の削除薬品：

リスモダンP静注、ネスプ注射液60μg, 120μgプラシリンジ、ノボラピッド注フレックスタッチ・フレックスペン、フォルテオ皮下注キット600μg